

働き方改革通信😊

No.24 令和4年(2022年)3月16日発行

発行：函館市教育委員会学校教育部

教育政策推進室教育政策課 Tel: 21-3523

gakko-keikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

五稜郭中学校の働き方改革の取組について（働き方改革推進事業）

函館市立五稜郭中学校では、北海道教育委員会の指定を受け、働き方改革に積極的に取り組んでいます。今年で3年目となりましたが、全道的な会議で取組を発表したり、道内各地からの視察を受け入れたりしています。

五稜郭中学校の取組をご紹介します。

働き方改革に係る学校経営ビジョン

方針①「トップダウンではなくボトムアップで」

- ・推進委員会（管理職・主任クラスで構成）で取組検討
→業務改善の推進本部的な存在，計画立案を行う部署
→「自分たちの手で、この学校を」という意識改革
→「働き方通信」を発行し，他の職員と情報共有
- ・全職員によるグループでの協議
→意識改革を行う絶好の機会
→リミッターが外れる場面
- ・アンケートによる意見収集
→役割・立場の違いによる少数意見を尊重

方針②「教育効果を失わない業務改善」

- ・同等の教育効果を生み出す取組の精選
→目標達成のための取組に特化（4月家庭訪問週間の廃止，1・2学期通信表の所見なし）
→「全面展開」から「一点突破」（19時留守番電話対応，日課表の見直し）
- ・負担軽減を実感する活動の簡素化
→前例踏襲・既成概念の打破（長期休業中の宿題廃止，「キャリア教育の充実」を目指した自主研修・宿泊研修の見直し，デジタル採点システムによる採点業務の負担軽減）

方針③「まずは実行，だめなら改善」

- ・躊躇せず改革にチャレンジ
→働き方改革は意識改革から（ショートスパンのPDCAサイクル）
→生徒会活動にも変化を（校則改正，学校行事・生徒会活動は企画立案段階からの見直し）

方針④「保護者や地域住民への理解促進」

- ・理解を進めるための準備および啓発
→情報発信（市の施策，道のアクションプラン，学校の取組等）
→各種会議での説明（PTA総会，部活動保護者会，学級懇談会，CS（コミュニティ・スクール）会議等）
- ・CS（コミュニティ・スクール）との連携
→学校・家庭・地域における適切な役割分担による教職員の負担軽減
→外部人材の専門性を活用した教育活動の充実

各学校の業務改善の取組の参考にしてください。



改善の状況

- ①土日のいずれか1日を含む週2回の部活動休養日，平日2時間・休日3時間の活動
→全部活動で実施
→5時間授業の日は16:30，6時間授業の日は17:30に活動終了
- ②テスト期間前や職員会議日の部活動休止
→完全実施（再登校禁止の取組）
- ③部活動の複数顧問制
→全部活動で2人以上の顧問を配置
- ④職員会議・校内研修日の定時退勤
→月2以上設定
- ⑤19時までには完全退勤
→出退勤管理システムの利用により在校等時間が減少傾向
→留守番電話対応により在校等時間が縮減

- ⑥学校閉庁日の設定
→夏季3日間，冬季6日間を設定
- ⑦職員朝会や会議の縮減
→校務用パソコンを有効活用し時間を縮減
→特別委員会等を空き時間に設定
→職員会議の提案は最低2日前に掲示板，会議では変更点・注意点のみで，すぐ質疑へ
- ⑧ペーパーレス化
→職員朝会や職員会議資料は校務支援システムで共有
- ⑨組織の見直し
→学校運営にかかる調整機関の推進委員会は通年稼働
- ⑩変形労働時間制の活用
→旅行的行事，体育的行事，安全指導等の際に活用

🔄 学校における働き方改革に係る道民の意識に関する調査結果😊

働き方改革に関しまして、各学校において、様々な取組が行われているところですが、先日、北海道教育委員会から「令和3年度学校における働き方改革に係る道民の意識に関する調査結果」が公表されました。

【調査結果】

○ 教員に関するイメージ

- ・多くの先生方は一生懸命頑張っており、大変そうだ 71%
- ・多くの先生方は忙しく、疲れているようだ 14% (合わせて85%)

○ 教員の勤務実態

- ・教員の長時間勤務は問題だと思う 73%

○ 学校現場で進めている取組

- ・よく知っている 13%
- ・少し知っている 57%
- ・分からない 29%

○ 学校行事など地域等と関わりのある業務の見直し

- ・学校の機能を高めるため、積極的に取り組むべきだ 39%
- ・やむを得ないが、できるだけ保護者や地域と話し合いながら進めてほしい 48%

教員のイメージについて「多くの先生方は一生懸命頑張っており、大変そうだ」、教員の勤務実態について「教員の長時間勤務は問題だと思う」など、多くの方から先生方に対して共感的な意見が寄せられています。一方、学校現場で進めている取組について「分からない」、「少し知っている」など、学校の取組について十分に知られていない状況もあるようです。また、学校行事など地域等と関わりのある業務の見直しについて、保護者や地域住民で学校運営に参画したいという思いをもっている方も多くいるようです。

全道的な調査結果ですので、市内の学校が当てはまるかは分かりませんが、各種調査結果を参考に、取組の見直しに役立ててみてはいかがでしょうか。

(意識調査：<https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksi/hatarakikatakaikaku.html>)

また、参考になる資料として、北海道教育委員会のホームページには、「北海道の学校における働き方改革手引『Road』」が掲載されています。

「Road」は、小学校編、中学校編、高等学校編などがあり、学校で働き方改革についての計画を立てたり中心になって取組を進めたりする「コアチーム」の結成の仕方や、取組を考えたり振り返ったりする際に活用できる「ワークシート」、「チェックシート」などが掲載されています。



五稜郭中学校での取組も参考に作られた資料ですので、ぜひ、参考にしてみてください。

(手引「Road」：<https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksi/87804.html>)

🎀-----🎀-----🎀-----🎀-----🎀-----🎀-----🎀-----🎀-----🎀-----🎀-----
函館市で行っている働き方改革に関する取組事項をまとめた「教職員の業務改善のための取組」は [市ホームページ](#) からご覧いただけます😊